

よしながだより

どんな予防をすればいいの?? vol.9

春になるとフィラリア予防が始まりますね。フィラリア症はペットを飼ううえで必ず予防しなくてはならない病気です。

しかし、大切な予防はこれだけではありません。ワンちゃん・ネコちゃんの健康を守るためには、他にもいくつかの予防が必要で、今回は、**1年間に必要な予防**を紹介します。

★フィラリア予防★ (犬) (猫)

蚊に刺されることで心臓に虫が寄生する病気です。犬では予防しなければほとんどの場合感染し、重い心臓病を引き起こします。また、猫では犬よりも重篤な症状や突然死を招くこともある恐ろしい病気です。

～予防方法～

- (犬)
- 錠剤タイプ(月1回)
 - チュアブルタイプ(月1回)
 - スポットタイプ(液体)(月1回)
 - 注射(半年に1回)

- (猫) ◦スポットタイプ(液体)(月1回)



～予防期間～

蚊が出始める時期 (4～5月頃) ～ 蚊が出なくなしてから1ヵ月後 (11月後半～12月前半)

★狂犬病ワクチン★ (犬)

生後91日以上の子犬は、1年に1回接種することが義務づけられています。現在日本での発生はありませんが、世界中では毎年何万人もの人や犬が感染して亡くなっています。日本で狂犬病が発生した場合、全体の70%以上がワクチン接種をしていれば感染拡大を防ぐことができますが、実際の接種率はそれ以下と言われています。

動物病院、または市町村での集合注射(4~6月)で接種しましょう。(病院では1年中、いつでも受けることができます)

★混合ワクチン★ (犬) (猫)

狂犬病とはちがい、現在日本でも発生していて感染する可能性のある病気のワクチンです。子犬は生後4ヵ月、子猫は生後3ヵ月になるまで1ヵ月おきにワクチンを射ちますが、その後も1年に1回の追加接種が必要です。感染率・死亡率の高い病気も多いので、しっかりと予防しましょう。

(犬) 8種混合ワクチン
5種混合ワクチン など

(猫) 5種混合ワクチン
3種混合ワクチン



★ネコエイズワクチン★ (猫)

ネコエイズは混合ワクチンとは別の『ネコエイズワクチン』で予防します。初めは3週間おきに3回射ち、その後は1年に1回ずつの追加接種となります。

ネコエイズは一度感染すると治ることはなく、進行すると死に至る恐ろしい病気です。ネコ同士のケンカで感染することがほとんどなので、外に出るネコちゃんは接種しましょう。

★ノミ・マダニの予防★ (犬) (猫)

ノミやマダニが寄生すると、かゆみだけではなく『ノミアレルギー性皮膚炎』や『犬バベシア症』などの病気を引き起こすことがあります。また、ノミを介して『瓜実条虫(サナダムシ)』がお腹の中に寄生することもあります。暖くなってくるこれからの季節、必ず予防しましょう。

ノミは気温が13℃以上あれば繁殖するので、室内にいるワンちゃん・ネコちゃんには通年予防をおすすめします。

～予防方法～

犬・猫ともに、スポットタイプ(液体)が主流で、1～2か月に1回、背中につけるだけです。その他、飲み薬や首輪タイプもありますので、スタッフにご相談下さい。



★定期駆虫★ (犬) (猫)

お腹の中に寄生する虫(回虫・条虫など)の予防です。これらは『人畜共通感染症』で、濃厚なスキンシップから人にも感染することがあります。

～予防方法～

犬・猫ともに生後4ヵ月になるまでは1ヵ月に1回、その後は3ヵ月に1回薬を使うだけで予防ができます。

(犬) 錠剤タイプ

(猫) 錠剤タイプ

スポットタイプ(液体)